

ブナシメジを主成分とする4種きのこ乾燥粉末の混餌経口投与によるSarcoma-180腫瘍増殖抑制作用

【目的】これまで、きのこの腫瘍抑制作用について多数の報告があるが、経口投与による有効性についての報告はほとんどない。我々はブナシメジ子実体を主成分とする4種類のきのこ乾燥粉末の混合物を、粉末飼料CE-2に混ぜてマウスに与えた際のS-180腫瘍増殖抑制作用について検討した。

【方法】きのこ粉末は、ブナシメジの他にエノキタケ、マイタケ、シイタケの子実体乾燥粉末を各々55%、15%、15%、15%の割合で混合したものをを用いた。ICR（5W♀）マウスにS-180を $5 \times 10^6$ 個ずつ皮下移植し、1週間後よりきのこ粉末を投与した。腫瘍の大きさは1週間毎に長径と短径を測定し体積を算出して比較した。免疫反応については腫瘍移植5週間後に脾臓細胞のNK活性を測定した。

【結果】きのこ乾燥粉末投与による腫瘍抑制率は約60%で、ブナシメジ粉末を単独で用いた場合に比べて安定した抑制作用が認められた。NK活性は担癌マウスでは低下するのに対し、きのこ粉末投与群では健常マウスと同じレベルまで回復していた。また、免疫不全マウスを用いた実験では、腫瘍抑制が全く認められなかったことよりNKやT細胞が深く関与していることが示唆された。